

平成 26 年度教育研究活動報告書

氏 名	刈山 和俊	所 属	経済情報学部経済情報学科
学 位	理学博士	職 位	教授
専門分野	数学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	教養数学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		
大学院	統計学特論 計量経済学特論 研究指導（応用統計学）		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5 件まで）			
（1）〈論文〉 On the conjugacy classes of anisotropic maximal tori of a Chevalley group over a local field, J. Algebra, vol.99, p.22-49			
（2）〈論文〉 Very cuspidal representations of p-adic symplectic groups, J. Algebra, vol.207, p.205-255			
（3）〈論文〉 Fundamental C-strata for classical groups, (joint with Michitaka Miyauchi), J. Algebra, 279, p.38-60			
（4）〈論文〉 On types for unramified p-adic unitary groups, Canad. J. Math., vol.60, p.1067-1107			
（5）〈論文〉 On the Hecke algebra of a type for unramified p-adic unitary groups, J. Algebra, vol.323, (2010), p.2624-2637			
本年度を含む過去 3 年間の研究業績			
（1）〈報告〉 不分岐 p-進ユニタリー群の special 表現に関する形式次数、semisimple stratum の場合, 京都大学数理 研講究録, 1770, (2011), p.150-161			
（2）〈論文〉 The formal degree of the discrete series representations of $GL_m(D)$, J. Number Theory, 133, (2013), p.3426-3452			
現在の研究テーマ（3 つまで）			
（1）p-進古典群の type の Hecke 環の構造の決定			
（2）局所体上の中心的単純多元環の乗法群における cuspidal 表現の分類に関するある予想の解決			
研究テーマの進捗状況	テーマ（2）に関する論文“Endo-class and Jacquet-Langlands correspondence”の論文が Kyoto J. Math. 22, no.2 に出版される。また、essentially tame 表現に関してもテーマ（2）の予想を証明することができた。現在、その論文を執筆中である。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去 3 年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			